

令和2年度 第1回 新潟市立豊栄図書館協議会 議事概要

日 時： 令和2年7月15日（水） 午後2時～3時40分

場 所： 豊栄図書館 集会室

出席者： 新潟市立豊栄図書館協議会 白神会長、小野委員、高橋委員、藤沢委員、
村中委員、有田委員、坂井委員
事務局 池田館長、青野主任、武田主査、渡邊図書館司書

1 議事・報告事項

(1) 令和元年度北区図書館利用統計について

(事務局) 案件概要説明

(白神委員) 入館者数減について理由の一つで近隣図書館の新設をあげていたが。聖籠町立図書館がとても居心地がよく使いやすかったと娘が言っていた。自身もそう思う。エントランスの展示も素晴らしい。書架が低いので1フロアが見渡せて居心地がよい。豊栄図書館は少し堅苦しい雰囲気。安藤忠雄建築に手を加えられない縛りが弊害になっているのではないか。もっと図書館を楽しめるようにしたらよい。他の図書館を覗いて良いところを取り入れたらどうか。

(坂井委員) 新設の図書館はだんだんといいものが建っている。

(事務局) 聖籠の図書館を参考にしたい。

(村中委員) 豊栄は安藤イズムが強すぎるのではないか。司馬遼太郎記念館も同様に安藤忠雄さんの設計で円型と方形の建物。豊栄はすごい哲学を持った図書館だと思うが、十日町や小千谷の図書館もよい図書館だと思う。

(白神委員) ここを建てる時に十日町も見学しに行った。確かによかった。

(2) 「図書館へのたより」や図書館への意見について

(事務局) 案件概要説明

(白神委員) 障がい者の駐車場が正面入り口から遠いというたよりについて。人的サポートの対応だけでよいのか。建物入口正面に障がい者が停められる駐車場を新設したらどうか。

障がい者の方が駐車場からサポートを求めて電話をかけるのは勇気がある。サポートよりも使いやすい状況を作ったほうがよいのでは。

(事務局) 以前検討をしたが、歩行者と交差点が近いので乗り入れできないという制約がある。また図書館の設計段階で歩行者と車が交錯しないようにという基本的な考えがあった。

(白神委員) 障がい者の駐車スペースに関しては当てはまらないと思う。私たちにさえ駐車場は遠く感じる。雨の日はなおさら。もう少し障がい者に使いやすい施設になるよう検討していただきたい。

(事務局) 検討課題とさせてほしい。

(3)令和2年度北区図書館事業計画について

(事務局) 案件概要説明

(坂井委員) 新型コロナウイルスの事があるのでできるかどうかは無理をせずに状況をみて判断してもらいたい。

(4)令和2年度北区図書館の予算について

(事務局) 案件概要説明

(白神委員) 濁川地区図書室は現在は濁川コミ協のボランティアという形で運営されているのか。

(村中委員) 今年の4月から文教部で運営している。ほかにボランティアのみなさんを集めてもっと積極的に活動したいが費用のあてはない。

2全体を通して

(高橋委員) なかなか昨年度は参加できなかった。一年図書館のことを勉強したい。

(村中委員) 濁川地区図書室は存続できたが、利用者には高齢の方が多いので図書室を1階にしてほしい。階段があるから利用できないという声もある。

(事務局) 濁川コミ協と協力しながら北出張所に声を届けたいと考える。

(有田委員) 自分が所属している読み聞かせボランティアのグループこんぺいとうは新型コロナの影響で活動できていない。なかなか先がみえない。子どもたちの本とのふれあいはどうなっているのだろうと考えた。保護者が本に親くない子どもたちは。南浜地区で一度おはなし会をしたが、やはりこんなときこそ子どもたちに本を読んであげたいと思った。

(坂井委員) 開館20周年の式典等はするのか。

(事務局) 実施する側も来る側も不安がある中で人を呼ぶイベントを実施することは難しい。状況も見ながらということもあるが、先が見えないので1年延期も考えている。

(白神委員) 当初は豊栄図書館応援団のわくわく体験を20周年に合わせて秋にしようかと考えていたが、ボランティアとしても打ち合わせでや準備で集まるのが今は難しい状態。今年の開催は図書館応援団としてはやめようかと考えている。昨年までは5校に朝読書へ行っていた、7月から2校のよみきかせが再開した。行ってみたら、マスク必須。ガードの中で読み聞かせをした。教室中に聞かせるにはかなり大きな声を出さなければならなくて大変。語りは表情が大切だが見えなくていつもより伝わりづらい。無理してまではやる必要はないのかなと感じた。

(坂井委員) 北区役所移転は何月になるか。

(事務局) 12月に完成、1月に引っ越しと聞いている。

(坂井委員) 移転したら同じ敷地内になるので図書館利用も増えるだろう。新型コロナウイルスで遅れるかもしれないが。学校図書館支援センターについては、支援体制もコンパクトになってしまったと聞いて思った。

- (白神委員) 支援センターは1箇所が集まったが、その中で北区の学校を支援する担当はあるか。
- (事務局) 北区の担当者はいる。要請があれば出向くし、これまでと支援の内容は変わらない。
- (藤沢委員) 障がい者の駐車場の問題は公共施設として来館者を最優先に考えていただきたい。これからは高齢者の利用が増えていく。前向きに検討を。読み聞かせについてはマスクはデメリットではあるが、完全に元のコミュニケーションが確実に戻るかはわからない。読み聞かせにマイクを使用したり新しい活動の方法を模索する段階に来ていると思う。
- (小野委員) なぜ学校図書館支援センターを1つにまとめてしまったのかわからない。公共図書館に引き上げられて学校の正規司書がどんどん減っている。児童・生徒1000人規模に臨時職員が1人で対応するのは厳しい。正規の司書こそ学校に配置すべき。児童・生徒数や、業務量を考えての配置が必要。学校現場ではパートの司書が仕事が終わらず定時に帰れていない。また、臨時の司書が集まったところでリーダーが決まらないという状況を聞いている。現在、北区には正規の司書が配置されている学校はない。少なくとも、各区に1名は大規模校に正規司書を配置してその区の学校図書館をまとめる形になぜしないのか。学校現場を知らない、学校のシステムを使えないのでは支援センターの意味がない。支援センターの司書こそ学校現場を経験すべきではないのか。
- (事務局) 支援センターの司書は全員、学校図書館での勤務経験がある。しかし、予算の関係で公共と学校のシステムのメーカーを一緒にすることや公共図書館にデモ用の機械を置くことができなかった。また、支援センターができた頃と現在とでは相談内容や支援の仕方が変化してきた。学校図書館の整備から活用についての相談が多くなり、図書館活用について教諭から相談を受けられるよう指導主事を置くことに重点を置いた。
- (小野委員) もっと学校現場の声を拾って人員配置を考えてほしい。

【配布資料】

次第

委員名簿

座席表

資料1	令和元年度北区図書館事業報告
資料2	令和元年度学校図書館支援センター事業報告
資料3	令和元年度北区図書館利用状況及び蔵書冊数
資料4	令和元年度北区図書館に寄せられた利用者の声
資料5	令和2年度北区図書館事業計画
資料6	令和2年度北区図書館予算内訳概要

- 資料 7-1 令和元年度新潟市立図書館施策・事業評価シート
- 資料 7-2 令和元年度新潟市立図書館指標別評価シート
- 資料 7-3 令和2年度新潟市立図書館施策・事業評価シート
- 資料 8-1 学校支援センターの組織強化について
- 資料 8-2 学校図書館を応援します 2020